



第57回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会

平成 28 年 7 月 2 日(土)～3 日(日) 長野県松本市三才山 松本市美鈴湖自転車競技場 (周長 333.33mバンク)

主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催: 公益財団法人日本自転車競技連盟

協賛: 公益財団法人 JKA

一般社団法人日本競輪選手会

公益社団法人全国競輪施行者協議会

株式会社パールイズミ

ブリヂストンサイクル株式会社

Communiqué No.3 【訂正】
チーフコミッサー 倉田 達樹

1. 空気抵抗を減じるなど競技者能力に影響をあたえるため、あるいは競技者の身体を強制するため(圧迫、引張、支持)の、付加的な衣類または物は禁じる。また、屋内トラックにおける競技ではシューズカバーの使用は禁止される。(2016JCF 規則第 8 条 6 項)
2. タンデム・スプリント
 - 予選は、5 周を周回する内の最後の 1 周(333.33m)を計時する。
 - 対戦に入ってから、競技規則に従い、5 周回で行う。
 - 5-8 位決定予選、7-8 位決定戦、5-6 位決定戦は、1 回戦制で行う。
3. タンデム・スプリントに使用する自転車の器材について
(JICF 沿革・組織・憲章・規程 Ver.11.0 2016.04.01.版 p15～p16を参照
http://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2016/04/16jicf_gakuren_annai_160401.pdf)
 - タンデム・スプリントに使用する自転車については、上記のタンデム用自転車器材に関する規定に加え、後輪の駆動側にチェーン引き又は同等の効力をもつ緩み防止装置の装着を義務付ける。装着なき場合はレース・練習を問わず使用を禁ずる。
4. 女子スプリント
 - 予選に 11 名エントリーしているため、予選タイムの上位 8 名による 1/4 決勝を行うこととする。1/4 決勝は 1 回戦制で行うものとする。
5. 男子ポイントレース
 - 予選 10km で 2 組、各組上位 12 名が決勝 40km に進出する。
6. 男子スクラッチ
 - 予選 6km で 3 組、各組上位 8 名が決勝 15km に進出する。
7. ケイリン
 - エントリーが 50 名のため、予選 8 組で各組 1 位上がり、敗者復活戦は 7 名ずつ 6 組で各組 1 位上がりとしてそれぞれ準決勝へ進出する。準決勝は 7 名ずつ 2 組で、各組上位 3 名ずつが決勝へ、各組 4～6 位の 3 名ずつが 7～12 位決定戦に進出する。
8. マディソン
 - 距離 25 km(75 周)で行う。
 - ポイントは 15 周毎(スプリントはフィニッシュを含め 5 回)
 - 最終スプリントも中間スプリントも得点は同じ(5、3、2、1 点)
 - 順位決定の優先順位は、1.周回数、2.得点、3.最終着順
 - 本大会では、メイン集団から 2 周回遅れたチームは原則として除外する。(DNF)
 - マディソン専用ゼッケン(出走番号と同番号の黒赤)を使用のこと。
 - 1 校 2 チーム参加する学校は、異なる組が識別し易いようにすること。
(例: 「長袖の組」と「半袖の組」、左側の袖口にテープ等でマークする)
8. 表彰式
 - チームユニフォーム着用のこと。サングラス・帽子の着用、サンダル履きは禁止する【重要】。



この自転車競技大会は、「競輪公益資金」の補助を受けて開催するものです。

<http://jicf.info/> (レース結果は HP へ)





第57回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会

平成 28 年 7 月 2 日(土)～3 日(日) 長野県松本市三才山 松本市美鈴湖自転車競技場 (周長 333.33mバンク)

主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催: 公益財団法人日本自転車競技連盟

協賛: 公益財団法人 JKA

一般社団法人日本競輪選手会

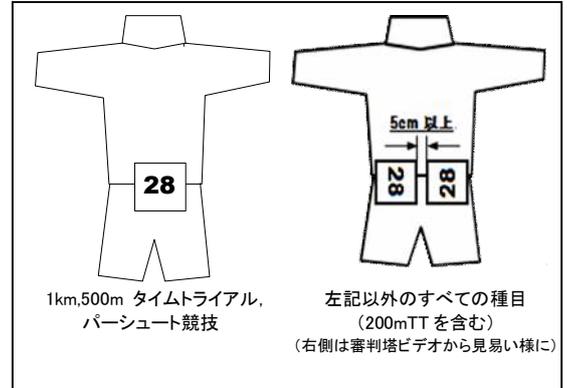
公益社団法人全国競輪施行者協議会

株式会社パールイズミ

ブリヂストンサイクル株式会社

10. ゼッケンについて

- レース終了後に、チーム単位でまとめて大会本部へ返却すること。
- 紛失、未返却は 1 枚 1,000 円のペナルティーを科す。
- ゼッケンをつける際の安全ピンは各校で用意すること。
- ゼッケンの装着は一般規則に準じる。(右図参照)
- ポイントレース、マディソン、スクラッチでは、専用のゼッケンとフレームプレートを使用のこと。
フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側に寄せること。



11. ハンドルバー、並びにアタッチメントバーの全ての端面には、バーエンドキャップを装着のこと。また、安全のため滑らない様にハンドルバーにはバーテープを巻くこと。



この自転車競技大会は、「競輪公益資金」の補助を受けて開催するものです。

<http://jicf.info/> (レース結果は HP へ)

